

女城主ミナモ 湯飲みに参加

恵那特別支援学校生がオリジナル器

恵那特別支援学校高等部(恵那市岩村町)と岐阜各務野高(各務原市)の生徒が、清流の国ぎふマスコットキャラクター・ミナモと同町の「女城主」をコラボさせた「女城主ミナモ湯飲み」を共同制作した。今月中旬から恵那市内で販売する。(長尾剛次)

ミナモのデザインを活用「ミナモ工房」に認定された製品を製造販売する ている高等部の窯業班が今



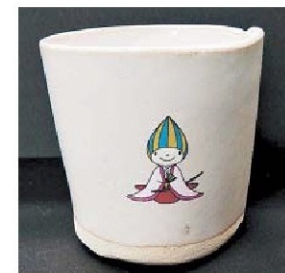
岐阜各務野高と共同制作 今月中旬から販売

春、地元岩村城の女城主をPRしようと、オリジナル器の製品製造を企画。県を通じて、ミナモのデザイン制作を担当する岐阜各務野高情報科に提案し、同科の生徒がデザインを考案した。

女城主ミナモはピンクと赤の着物姿。刀を差し、愛らしい表情で座っている。窯業班の7人が製作した湯飲み、女城主ミナモの転写シールを張って焼いた。製品は現在、清酒「女城主」で知られる岩村醸造(同市岩村町)で展示している。

今月中旬からはバロー恵那店(同市大井町)の同工房製品コーナーで、1個200円(税込み)で販売する。窯業班2年の曾我和矢君は「作り上げた達成感がある。湯飲みがたくさん売れればうれしい」と話した。

展示されている「女城主ミナモ湯飲み」をPRする生徒＝恵那市岩村町、岩村醸造



女城主ミナモ湯飲み